



特集 令和3年度事業報告



「アウトドアレク(園芸活動) おおきくな〜れ!!」
練馬区立大泉町福祉園

トピック

福祉に関心をもったきっかけは
中学生の職場体験が60.6%で突出

東京都社会福祉協議会は、今年の1月27日から3月10日まで、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士の資格取得等ができる都内大学等の養成機関の学生のうち、令和2年から3年度に実習を行った340人を対象に「コロナ禍における実習機会減少の影響に関する調査」を行いました。

設問は、①福祉に関心をもったきっかけ、②実習機会減少の影響、③実習代替プログラムに対する評価。①の設問の中の「入学前の福祉施設や支援を必要とする利用者との接点」に対する回答は、「中学生の職場体験など体験型のプログラム」が60.6%、「ボランティア活動」が37.6%、「身近に福祉サービスが必要な人がいた」が30.3%、「住まいや学校の身近に施設等があった」が16.2%となっていて、中学生の体験が福祉に関心をもつ非常に大きなきっかけであるという結果でした。ボランティアも大きなきっかけではありますが、中学校が行っている体験型プログラムという福祉教育が大きな影響を与えていることに注目したいと思います。福祉の就職先を選ぶ際の情報収集でも、「実習やインターンシップ」がトップで46.1%、「法人や事業所のホームページ」が45%、続いて「学校の就職課、学校の先生の情報」が42%台で続きます。大学の取り組みが大きな影響を持つことがわかります。

②の設問では、コロナ禍で実習が予定通りに行われなかったことで、「福祉分野を選択する判断に影響があった」が9.1%にとどまっています。③の設問では、実習代替プログラムで良かったこととして、「施設職員が来校して話をしてくれた」、「zoomで施設職員の話が聞けた」等、工夫をして福祉施設の職員とゆとり話す機会を設けた学校の学生が答えています。

少子高齢人口減少社会では、福祉従事者がますます減少し、福祉の持続可能性が危ぶまれ、地域共生社会が求められる中で福祉教育が今後の日本の福祉の未来を決めると言っても過言ではないことが、この調査結果ではっきりしました。小・中・高・大学と一貫した福祉教育を行うことが、福祉の推進に繋がると、地域共生社会の基盤である住民意識の向上にも繋がると考えます。全国的には、地域公益事業の見える化が進まず、またぞろイコールフットリングがささやかれています。社会福祉法人が地域の教育機関と連携し、福祉教育を推進することが重要だと考えています。

社会福祉法人武蔵野会 理事長 高橋 信夫

令和3年度 社会福祉法人武蔵野会 事業報告

持続可能性の追求と基本方針

法人の中長期基本方針では「定常化に徹し、地域共生社会実現のため法人の規模拡大ではなく、法人の役割を拡大する」としたが、感染症の継続により内外を問わずオンラインでの会議や研修が常態化し、人と人の繋がりが失われ、法人の役割拡大のためのネットワークの厳しさを感ずる年度となった。各施設では、コロナ禍にあつて感染防止対策を実施しながら活動を少しずつ広げたが、行事やご家族との面会、ボランティアや実習などの外部とのつながりに影響が継続し、利用者支援がますます大きな事業が発生し、法人全体で改善に向け取り組んだため、事業計画通りではなく、優先順位を変更して組織改善に取り組んだ。

(1) 虐待事案を踏まえた法人としての組織改善

昨年度の大島恵の園、さくら学園での虐待事案については、ご利用者やご家族はもとより、関係機関の信頼を大きく損ない、法人全体の問題として改善に取り組むこととなった。研修計画を見直し、大島恵の園とさくら学園で管理職・役職を対象として、外部コンサルを入れ、利用者の皆さんのた

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応

オミクロン株は、入所施設で大型クラスターを発生させた。感染予防対策に不備はなかったが、感染力の強さにより2つの入所施設で一気に広がり、直接の原因は定かではないがそれぞれ2人の利用者がお亡くなりになった。それぞれ

めに、本当に必要な施設はどういう施設なのか、自分たちが作りたい施設はどうかを改めて時間をかけて考え直した。具体的な達成目標を立て、自分たちを主体とした組織改善への取り組みは、次年度の継続目標として取り組むこととした。法人役員、施設長、全職員を対象にしたコンプライアンス研修等、法人全体で虐待事案の原因追求と改善に向けた検討機会を持った。また、被虐待利用者の市区町村、東京都に改善報告を提出した。弁護士を委員長とし、大学教授、大島地区第三者委員、ご家族代表を委員とした第三者委員会への改善報告書は作成中であり、次年度にまとまる予定である。原因の一つと考えられた職員の不足は、各施設から中期(2ヵ月半)短期(1週間)、10人の職員を派遣し、延べ人数は百人を数えた。派遣職員の宿泊費用や様々な研修の実施は法人の予算計画にも大きく影響したが、組織継続と改善を優先した。

(3) 上記の2事業を踏まえた事業報告

(地域公益活動)

全国社会福祉法人経営者協議会において共通の課題である「地域公益事業の実践」は、法律の改正で責務化され、社会福祉法人の存在価値と持続可能性を高めるための必須事項であり、事業計画では「法人は広域的活動、各施設は地域に密着して、地域福祉のネットワークの核になり、地域住民、民生児童委員、福祉団体や行政等と連携・工夫して新しい計画を立てて実践する」としたが、各施設の職員状況、大島への職員派遣、継続して行った対策会議や研修等が影響し、法人、施設共に十分ではなかった。

計画で掲げた本部での「断らない相談支援事業」は6月開始予定が、開始は年度末となった。また、各地区の役職を委員として設置した地域公益事業推進委員会は、オンライン会議や研修は実施したものの、各施設の新しい地域公益事業の実践には繋がらなかった。

(人材確保と育成、人事配置)

継続する大きな課題は人材確保であり、少子化にコロナ禍も重なり、厳しい状況だった。加えて昨年度は欠員が埋められなかった大の研修はオンライン開催となったため、今までは2名程度の参加だったが、今年度は法人内防災委員が多数参加し、研修内容の共有ができた。

(サービスの質の向上)

支援実践報告集は継続し、冊子にまとめる作業を実施中。各地区の実践事例報告会はオンラインで開催し、理事長、本部長に加え本部職員も参加した。武蔵野会セミナーは、社会の課題となっている「ひきこもり」をテーマとして筑波大学教授の斎藤環氏に基調講演を依頼して開催した。

一般社団法人「みんなの力」に対しては、第三者評価、法人後見の身上監護など、法人で協力を行った。「生きにくさを抱えた障害者等の支援者ネットワーク」では、運営への協力、現場での実践者からの研修、ウェビナーでのオンライン研修への参加を通して、まだまだ私たちが知らない、生きにくさを抱える人々たちへの取り組みを学ぶ場とした。

地域福祉ニーズの対応では、重度障害者対応の共同生活援助と短期入所事業を柗田ホームで開始した。その他、コロナ禍ではあつたが、各地区で感染予防に努めながら、地域包括ケアの実践として、フードバンク、子ども食堂、地域サロン、地域の学校との連携、少年院等矯正施設の退所者、依存症患者、LGBTの受け入れを法人全体で取り組んだ。地域プラスワン事業では、地域交流事業や中間的就労、生活困窮者の実習受け入れなど、地域ニーズに沿った活動を各施設で行った。

むさしの武蔵野

77回目の夏

1945年(昭和20年)8月6日午前8時15分、世界で初めて原子爆弾が広島市上空6000mで炸裂します。

投下された爆弾の内部ではウラン燃料が合体し核分裂が始まります。爆発はまだ起こっていませんが放射線を帯びた中性子線が地上に降り注ぎます。この時にかかった時間は百万分の1秒。同時に降り注いだガンマ線と合わせ、爆心地から数百mにいた人たちは熱線や爆風がなくても生き残れなかったと言われています。

さらに百万分の1秒後、爆弾が炸裂すると放射線と空気がぶつかって青白く発光します。火球と言われる火の玉は、百万分の15秒後には直径20mになり、太陽の表面温度の70倍になったそうです。ウラン燃料の合体から0.2秒後、火球は直径310mまで成長し、温度は太陽の表面温度とほぼ同じ6000℃、地上では熱線の影響が始めます。ウランの合体から2.5秒後、火球が急激に膨張するため押し出された空気が衝撃波として伝わっていきます。火球の温度は

1900〜2200℃。あまりの高温で人の影が焼き付いたと言われています。

衝撃波は、3秒後に1.5km、10.1秒後に4km先まで到達しました。あらゆるものが空中に巻き上げられ、地面にたたきつけられます。1.5km先で1㎡あたり3.3トンの衝撃ですからひとたりもありません。火球は約10秒で消え、熱せられた地表の水蒸気がキノコ雲を作っていきます。放射性物質を多く含んだ雲はやがて「黒い雨」となって熱線や爆風から逃れた人たちに容赦なく降り注ぎました。「原爆投下10秒の衝撃」NHK広島「核平和」プロジェクト(著)から

私たちは、「核兵器」という言葉を簡単に使用しますが、どのような兵器なのか忘れていてはいませんかと思うことがあります。「生を振り返り、死を意識する間もなく、一瞬にして命が奪われる」「ここに人としての尊厳はありません」。

今年、広島と長崎は77回目の夏を迎えました。平和のために今できることは何か、皆さんと共に考えたいと思います。

八王子生活実習所

施設長 岡部 智彦

(業務執行理事)

執行理事が人材育成・防災・人事制度・法令順守・建替え及び資金計画プロジェクトの中心となり、法人の持続可能なためにより取り組みを進めたが、全員参加の法人運営会議を、虐待事案対策本部と確認に時間を費やした。また、次

(防災について)

防災委員会の活動が定着、充実し、法人全体の防災意識や安全確認訓練を計画的に実施した。防災委員会通信の発行も継続した。大規模災害時と新型コロナウイルスに対するBCPの作成は概ね終了した。昨年度見送った日本福祉大学提携法人の防災ネットワーク

(建物維持と資金調達)

練馬福祉園建替えは、担当執行理事を中心に本部、施設職員、コンサルタントで定期的な話し合いを継続し順調に進んだ。大島恵の園の移設は家族会代表と大島地区施設長、本部役員で行っている建替え委員会を定期的に開催した。今年度は土地の取得に力を入れ、現在も検討中である。建設資金獲得のため、法人の地域公益事業推進委員会が企業を訪問し寄付金を獲得するための研修を計画したが、実行には至らなかった。コンサルタントと契約し、年明けから八王子市を中心とする多摩地域の企業に資料を郵送し電話で確認を始めた。始めたばかりだが、寄付の申し出が2件、面会の希望が2件あり、企業の関心は高い。

(人事考課制度と給与表改定)

人事考課制度は人事考課制度と給与表の見直しを継続し、4年度から採用する職員と再雇用職員の給与表を作成し適用した。既存職員の給与表、人事考課制度の詳細は、次年度内に整理し、令和5年度の適用とした。

法人単位資金収支計算書 (自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月 31日

第一号第一様式 (第十七条第四項関係)

(単位: 円)

Table with columns: 勘定科目, 予算(A), 決算(B), 差異(A)-(B), 備考. Rows include 事業活動による収支, 施設整備等による収支, その他の活動による収支, 予備費支出, 当期資金収支差額合計.

法人単位貸借対照表 (令和 4年 3月 31日現在)

第三号第一様式 (第二十七条第四項関係)

(単位: 円)

Table with columns: 資産の部, 負債の部. Rows include 流動資産, 現金預金, 普通預金, 定期預金, 事業未収金, 未収金, 未収補助金, 未収収益, 貯蔵品, 立替金, 前払金, 前払費用, 仮払金, 徴収不能金, 固定資産, 基本財産, 土地, 建物, その他, 構築物, 機械及び装置, 車両運搬具, 器具及び備品, 建設仮勘定, 有形リース資産, 権利, ソフトウェア, 無形リース資産, 退職給付引当資産, 措置施設特定積立資産, 施設整備積立資産, 人件費積立資産, 工賃変動積立資産, 就労支援設備等整備積立資産, 差入保証金, 長期前払費用, 資産の部合計, 流動負債, 事業未払金, 1年以内返済予定設備資金借入金, 1年以内返済予定リース債務, 未払費用, 預り金, 職員預り金, 前受金, 前受収益, 仮受金, 賞与引当金, 固定負債, 設備資金借入れ債務, 退職給付引当金, 負債の部合計, 純資産の部, 基本金, 特別積立金, その他, 措置施設特定積立金, 施設整備積立金, 人件費積立金, 工賃変動積立金, 就労設備整備積立金, 次期繰越活動増減差額, 次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額), 純資産の部合計, 負債及び純資産の部合計.

令和4年度武蔵野会 オンラインセミナー 「認知症の理解と支援」

長きにわたり地域社会で全世代にわたる生きにくさを抱えた人々への支援向上を議論してきた武蔵野会セミナーですが、今回は「地域社会における認知症の理解と支援」にスポットをあてます。全ての人の人権と尊厳が守られ、健康で豊かに多様な生き方ができる共生社会の実現を目指して、認知症当事者の方々、ご家族、支援者の方々の想いを大切に、葛飾地区より中継します。ぜひご聴講ください。

【日時】令和4年10月22日(土)午後1時~4時
【基調講演】「ひと足先に認知症になった、私からのメッセージ」発達障害の息子との歩みから講師 さとうみき氏(パートナー 堀田總子氏)
【パネルトーク】「安心して認知症になれる地域社会とは」当事者のホンネに寄り添う支援のカタチ

《パネリスト》三橋良博氏(認知症当事者家族)、笹原修二氏(葛飾区高齢者総合相談センター水元所長)、島田孝一氏(株式会社 Professional Works 代表取締役) コーディネーター

【参加方法】お申込み・事前登録制
https://musashinokaiseminar22.peaix.com



お申込みには Peaix (ピーティックス) の会員登録(無料)が必要です。登録後、メールアドレスに送られてくる URL、パスワードより当日ご視聴ください。1件の登録で複数視聴することはできません。
お問い合わせ: 社会福祉法人武蔵野会
電話番号: 042-631-6341
https://musashinokai.jp/form/contact/

ニューズ ラウンジ

東堀切くすのき園の

20歳を皆でお祝い

開設20周年記念事業実施

葛飾地区

平成14年4月に葛飾区が新設した当園は、16年の法人移管を経て、本年4月に開設20周年の節目を迎えました。今日まで葛飾区や地元の皆様をはじめ、様々な方のお世話になり、力強く支えていただいたことに心から感謝申し上げます。

当園の開設時は、定員50名のところ利用者数は38名、平均年齢は24.3歳、現在は利用者数53名、平均年齢は34.9歳です。これまで種々の理由で退所された方や高校卒業後18歳の門出を当園で迎えた方も数多く、時の流れを実感します。

5月28日には葛飾区の新井洋之福祉部長や地元仁隣町会



20周年のお祝いご膳

クローバーアート展

世田谷地区

世田谷地区計画の「文化・芸術活動」として、例年実施しています。毎回、会場を借り地区4施設の作品を展示しています。令和元年度は、これまでの地区4施設の展示だけでなく、他法人からも作品を募り、展示に協力をいただきました。会場も三軒茶屋の駅と直結している場所を借りることが出来、3日間の開催で200名近くの方が来場されました。令和2年度・3



素敵な作品ができました

クローバーアート展
2022
@online
4/25～10/24

QRコードは
こちらから



の西川守会長をはじめ、お世話になっていらっしゃる方々をお招きして20周年記念式典を行いました。記念冊子に青木克徳葛飾区長にご寄稿いただいたほか、当園の歴史をまとめた『20年の歩み』の動画上映も行いました。ご臨席いただいた皆様、また、お祝いを頂戴した皆様には、利用者の皆さんや職員と共に当園の20歳を祝っていただき、本当にありがとうございます。

式典当日には握り寿司がメインのお祝い膳が出され、利用者の方々は目の前で握られたお寿司に満足されていたようでした。施設内は利用者のアート作品で装飾、公募で決まった当園のゆるキャラ「クスクス」も公開し、お祝いムード満載となりました。

6月2日には記念レクリエーションとして、パーティシバ氏率いるエコール・ド・トーキョーの皆さんによるダンスパフォーマンス『キミトミライ』を当園全体で体験型で開催。コロナ感染防止を考慮して、園内各所やご家族・関係者にYouTubeでのオンラインライブ配信を行い、分散型で同じ時間に記念レクを

年度は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、WEB媒体での開催となりました。各施設で、利用者の方が活動で作った作品を写真や動画で収め、10分程度の作品となりました。これまで会場に来られなかったご家族からも、好評の言葉を頂いています。よろしければ、この機会に一度ご覧になっていただければと思います。

楽しむことが出来ました。

利用者の皆さんの命と健康を守り、個々のニーズに感じたりよりきめ細やかな支援、開設以来大切にしてきた家族支援、お一人おひとりの想いに寄り添う住まいの場の確保を含む多様な暮らしの創出、新型コロナウイルス、医療的ケア、摂食嚥下障害等に適切に対応できる専門性の向上や医療連携など、当園には様々な課題があります。この20周年を機にさらに職員一同頑張りたいと思います。どうか今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



記念式典でお祝いしました

中小企業 寄付金協力

法人本部

前号でお伝えした中小企業寄付金協力のお願ひについては、まず八王子地区の企業の皆様へのお声がけから始まっています。当法人が実施している地域福祉へのご協力依頼を各施設の職員が継続中ですが、今までに3社からご寄付をいただいています。今後も多く企業の皆様にご連絡をさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

匿名希望社様

(3月)

株式会社中央軌道工業様

(5月)

オーエム通商株式会社様

(6月)



西水元あやめ園

6月の第一週に江戸川区にある小岩菖蒲園へ花菖蒲の鑑賞に行ってきました。感染予防に努め少人数のグループに分かれて鑑賞しました。梅雨晴れの中、雨に濡れた花びらが光り輝き、綺麗に咲き揃った菖蒲の花を存分に楽しむことができました。

小平福祉園

5月20日(金)、児童発達支援すけつちでは、3年ぶりに小金井公園で親子遠足を行いました。新型コロナウイルスの影響を考慮し午前中のみにしましたが、平日療育と土曜療育の児童と一緒に参加し、青空のもと家族とともにゲームを楽しみました。

リアン文京

近所の診療所からお誘いがあり、診療所の前にハーブ花壇を作りました。リアン文京の利用者さん、地域の保育園児、通りがかりの人、みんなで育てています。いろいろな場所に拠点を作り、地域交流を楽しんでいます。

大泉町福祉園

毎週水曜日8時半から近隣の方をお招きしてラジオ体操を行なっています。感染防止対策をしつつ、園庭で大きく輪になっ

て、みんなで身体を動かしています。園庭に咲く季節の花を観ながらお話しするのも楽しみのひとつとなっています。

光が丘福祉園

夏の省エネ対策に向け、今年もグリーンカーテンが登場。今年にはゴーヤとキュウリを育てています。大きな葉っぱを茂らせ、花も咲き始めています。利用者と一緒に水やりをしながら、収穫できる日を楽しみにしています。

光が丘すてつが

「すてつが音楽会」を開催しました。障害のある人ない人が共につくるワークショップ発表のハンドベル演奏、障害のある人のピアノ演奏と地域の大正琴サークルの演奏。大正琴の伴奏による障害のある人の歌唱。歌声サークルメンバーによる会場を巻き込んだダンスと、盛りだくさんの内容で楽しみました。

千代田えみふる

昨年度から始まった千代田文京地区の養蜂プロジェクト。ようやく商品化となりました。地域のつながりから生まれた養蜂プロジェクトは、はちみつ6次産業化を目指しています。障害のある方の就労や社会参加の機会を創出しながら、地域の活性化に貢献していきます。

お知らせコーナー



ライブストリーミング ミキサー

東堀切くすのき園

当園がある葛飾区で公益社団法人として活動されている葛飾法人会女性部会様から、オンラインでのライブ配信で音声や音楽を視聴者に聴きやすくお届けする際に大変便利なヤマハ製のライブストリーミングミキサーをご寄贈いただきました。さる7月6日、坂巻茂里部会長はじめ4名の皆様が来園され、この貴重な機材とあわせて

タオルや手ぬぐいも多数いただきました。本当にありがとうございました。ご寄贈いただいた品々は今後皆で大切に使用させていただきます。

女性部会の皆様は当園を見学される中で利用者の皆さんそれぞれに声を掛けられ、日頃の取り組みにねぎらいの言葉をいただき、とても和やかな一時となりました。同部会からは、きね川福祉作業所、白鳥福祉館でも過去に物品をご寄贈いただきました。葛飾法人会の皆様の温かいお気持ちに心から感謝申し上げます。

のでは有
用変大
な配有
コナ
オン
ライン



葛飾区法人会
女性部会の皆様

大島職員採用

法人本部

大島恵の園・第2大島恵の園は東京竹芝港から船で約2時間・調布飛行場から約30分の、海や自然が豊か

な伊豆大島にある知的障害者入所支援施設です。現在、利用者様の入浴や食事、余暇活動等の生活支援をする職員を急募しています。

未経験の方も、福祉施設勤務のご経験がある方も「まずは1年」でもお力添えいただきたいと考えています。職員寮があり住宅手当も支給します。また、離島での生活を現地の職員がサポートします。将来は都心の施設への異動も可能です。

お知り合いで求人募集についてご興味のある方がいらっしゃいましたらご紹介いただけますと幸いです。オンラインでの説明会も接も可能です。ご応募やご相談は武蔵野会本部採用担当までお気軽にご連絡ください！

電話 042-631-6341
recruit@musashinokai.jp



QRコードから詳しい求人情報や施設内の様子などをご覧ください。



豊かな自然が待っています

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する事業所の利用者のためにより良い環境や施設の充実、円滑な運営などを物心両面から支える組織として武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により会の拡大を図り、法人の運営基盤の確立を応援していますのでご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931
東京都八王子市台町1-19-3
電話・FAX 042-626-9772



心を込めて1枚1枚作ります

シヨーカーズ 自主生産品紹介 手作り名刺

世田谷福祉作業所

03・3414・0141

牛乳パックだけでなく、売れなかつた雑誌や配送が終わった段ボールも、思い切りビリビリに破いて生まれ変わる、サステイナブルで愛おしい手漉きの紙。この紙に、手動でくるくる回す活版印刷で印刷した名刺は、ふっくら温かく、そしてSDGsに取り組みやすい一枚です！